**平和のためのe-フォレスト（e-Forest for Peace）（仮訳）**

**このページでは、**[**「**平和のための芸術と文化‐私たちと地球との平和な関係を見出す‐事業」](https://www.betweenthestones.com/introduction)の中の**「平和のためのe-フォレスト（e-Forest for Peace）」の活動目標の概要を説明します。**参加校がこの活動を始めるにあたり、背景情報や役に立つ資料のリンクを提供します。

**目標**

参加校は、[紛争と平和の学習](https://www.betweenthestones.com/introduction)に基づき、私たち自身が平安に、また私たちのコミュニティーや地球と共に平和に暮らすことの大切さに焦点を当てた詩や絵の短冊を満載した平和の木を作成し、国際バーチャル森の創作に貢献します。「少ない方が豊かである」というミニマリストのアプローチが、生徒の作品に創造的にも知的にも影響を与えるでしょう。

* 生徒たちはそれぞれ、**平和の木につるす平和の詩を書いたりイメージを絵にしたり、平和についてリサーチを行う**ことができます。短冊が風鈴からつるされたり展示されたりする場合、風鈴はリサイクル素材や見つけた素材で制作し、使う材料が「より少ない」ことで、得られる価値がどれほど増すかが示されなければなりません。
* 同じアプローチを用い、生徒たちは、自分たちの平和の詩を展示する自らが選んだ**持続可能な「平和の木」**を**デザインしたり利用したりする**ことができます。本物の木を利用するか、見つけた物体や構造体で作成した概念としての「木」を創作するかはすべて生徒たちの自由です。
* 参加者は、自分たちの平和の木を**地域コミュニティーに鑑賞してもらえる**よう、地域のどこに展示してもらうかについても決定します。
* こうした平和の木が、[ASPnet](https://www.betweenthestones.com/sharing-aspnet-values)加盟校の創意工夫を集めた「**バーチャルな**」**国際**「**ASPnet平和のためのe-フォレスト**」を作り上げます。

**教師注意事項**

**参加者は、全般的な紹介である**[本事業について](https://www.betweenthestones.com/introduction)**、**[注意事項](https://www.betweenthestones.com/notes-for-participants)**の他、活動の**[記録と共有](https://www.betweenthestones.com/recording-and-sharing-outcomes)**もお読みください。**

**日程**

* 各学校は、**2022年6月にロンドンで行われる英国ユネススクール大会までに登録しなければなりません。**
* この活動に関する作業に必要な時間は、教師が調査部分にどれぐらいの時間をかけさせたいと考えるか、カリキュラムや全活動の他の部分にどのよう関連づけることができるかによって、1回の授業で済ませることも一定期間にわたって行うこともできます。

**リソース**

* 「平和の木」の創作は、持続可能性の精神を反映させるために、既存の地元の資源またはリサイクル資源を利用して行わなければなりません。生徒と教師は、リサイクル素材や見つけた素材の利用においても、[ASPnet活動分野](https://www.betweenthestones.com/sharing-aspnet-values)を反映した木をいかに構想するかにおいても、想像力の発揮を目指さねばなりません。
* 平和の木を国際的に共有するには、次の通り行われるものとします。
	+ プロジェクトの説明文は400～600語とする。
	+ 芸術的に質の高い写真の数は最大10枚とする。
	+ プロジェクトに重要な動画を作成した場合は、地元のサイト（例えば学校や地域プロジェクト等）にアップロードし、リンクのみをACCU（webmaster@accu.or.jp）に送り、「平和のための芸術と文化」のサイトでシェアしてもらうこと。

**質**

* 生徒たちは、本イニシアティブのこの活動を完成あるいは他の活動に組み込むにあたり、芸術的に多様で美しい成果を達成することを目指します。各校が協力して実現したいのは、最高に面白く、美しく、ユニークでグローバルな「平和のためのeフォレスト」です。**生徒たちは、平和、持続可能性、異文化学習という**[ASPnet活動分野](https://www.betweenthestones.com/sharing-aspnet-values)**の神髄を伝えることを目指さなければなりません。**
* これは、3つの活動のうち最も簡単に行い得るものであるため、共に可能な限り広く世界的にインパクトを与えることができるよう、できる限り多くの学校がこの活動に取り組むよう促します。

**役に立つリンク**

* コヴェントリーの地元コーディネーターの観点から見たコヴェントリーの経験に関する短い動画（準備中）
* 俳句、短冊（詩を記したカード）、風鈴の歴史 （準備中）
* 俳句の書き方、リサイクル素材による短冊や風鈴の作り方（準備中）

（注：ジャパン・ソサエティーが、これらの古典形式に関心を持つ英語圏の生徒のために資料を作成中です。）

* ロンドン、キューガーデン、2021年。日本の俳句の展示例：[日本人芸術家、*塩田千春によるOne Thousand Springs*](https://www.kew.org/terms-and-conditions/japan-festival-haiku-submission)
* [ミニマリズム](https://en.wikipedia.org/wiki/Minimalism)とは？

**お問い合わせ**

* この活動に関連してご質問がある場合は、[イギリス・ユネスコ・ナショナルコーディネーター](https://www.betweenthestones.com/contacts)にご連絡ください。